

『表現論入門 群・代数・叢と圏の表現』正誤表
2024年1月15日

第1刷（令和5年6月30日発行）の正誤表【第2刷ではすべて訂正済み】

場所	誤	正
p. 8, 2.2節冒頭2行目	k を体とする. とくに断らない限り k は代数的閉体であるとする.	k を体とする. 以下 , とくに断らない限り k は代数的閉体であるとする.
p. 12, 9行目, 18行目 (2か所) p. 36, 13行目 p. 43, 下から7行目, 下から5行目 p. 59, 3行目, 11行目 p. 68, 最終行 p. 227, 3行目 p. 231, 下から3行目	代数閉体	代数的閉体
p. 45, 3.1節冒頭1行目	A を代数とする.	A を代数とする. 係数体 kは代数的閉体と仮定されていることを改めて思い出しておこう.
p. 111, 下から15行目	バーンサイドは線型変換群の理論を彼の 1987 年版の『群論』から取り除くことを	バーンサイドは線型変換群の理論を彼の 1897 年版の『群論』から取り除くことを